

INFORMATION [期間：平成25年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金沢大学十全医学会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/35526

INFORMATION

【期間：平成25年】

神経分子標的学セミナー

演 題：脳細胞の再生の鍵を握る幹細胞 演 者：松山知弘先生(兵庫医科大学先端医学研究所 神経再生研究部門 教授)
 日 時：平成25年6月26日(木) 18時から19時まで 場 所：金沢大学医学類 第2講義室
 問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経分子標的学(第3解剖) 堀 修
 TEL：265-2162, E-mail：osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

松山先生は、これまでにマウス脳梗塞巣内に既報の成体神経幹細胞とは異なる神経幹細胞(傷害誘導性神経幹細胞: injury-induced neural stem cell; iNSPC)が存在することを報告されてきました。今回のセミナーでは、iNSPCが脳軟膜(Pia mater)血管周皮細胞(Pericyte)由来であること、更にそれらが脳修復機構において重要な働きをしていることを発表して頂きました。

第5回金沢大学学際科学実験センターシンポジウム

学際科学実験センターでは、実験動物研究施設、遺伝子研究施設、アイソトープ総合研究施設の3つの施設が持ち回りで隔年に一度シンポジウムを開催しております。本年度は、遺伝子研究施設がオーガナイザーとなり、国内外の最前線で活躍されている研究者を交えて、エピジェネティクスに関する諸問題について議論を進めます。セッションⅠでは「ヒストンの化学修飾を介したゲノム機能調節」のテーマ、セッションⅡでは「環境因子がもたらすエピゲノム異常と疾患」のテーマ、セッションⅢでは「先天性疾患におけるエピジェネティクス」のテーマで、海外1名、国内6名の招待講演を含む9つの講演をお願いし、有意義なセッションを行う事が出来ました。

*今年のテーマ「深遠なる疾患エピジェネティクス」

開催日：2013年7月5日(金) 13:00-18:00 場 所：金沢大学附属医学図書館 十全記念スタジオ
 連絡先：金沢大学 学際科学実験センター ゲノム機能解析分野 堀家 慎一 (TEL 076-265-2775)

第4回 Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース

このたび、アメリカ合衆国(USA)における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support (BDLS)プロバイダーコースを昨年に引き続き金沢で開催します。BDLSはBLS, BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり、アメリカ医師会(AMA)が運営するコースです。東日本大震災を経験し、災害に関する知識をもっと深めようと思われている方には最適なコースと思います。講義、スライドは全て日本語で行ない、内容はUSAそのままで開催します。

日 時：平成25年7月7日(日) 8:00-17:30 場 所：金沢大学医学部教育棟 1F 第二講義室

対象者：救急隊、看護師、医師等の医療従事者 150名程度 参加費：12,000円(テキスト代、登録料含む)

講義内容：8時間の講義、筆記試験(全て日本語です。)

なお、受講修了後日、AMAより受講修了書が発行されます。不明な点がございましたら、金沢大学附属病院 集中治療部 谷口 巧
 E-mail: icu.jimu@gmail.com (集中治療部秘書 吉本) TEL: 076-265-2826 もしくは 076-265-2000 (内線7744) まで

医療薬学フォーラム2013/第21回クリニカルファーマシーシンポジウム

メインテーマ：薬の専門家としての薬剤師の立ち位置を考える

日 時：平成25年7月20日(土)～21日(日) 会 場：石川県立音楽堂/ANAクラウンプラザホテル金沢(JR金沢駅前)

主 催：日本薬学会医療薬科学部会

共 催：日本病院薬剤師会、日本薬剤師会 後 援：石川県、金沢市、金沢大学十全医学会

特別講演：「Pharmacists, Now and in the Future」(アメリカ薬剤師会 次期会長) Matthew C. Osterhaus

教育講演：「薬学教育と薬剤師教育」(文科省高等教育局医学教育課長) 村田善則

シンポジウム：「アメリカのClinical Pharmacistと日本の臨床薬剤師」、「TDMにおける薬剤師の立ち位置とは」、「薬剤師外来：医薬連携の実践～薬剤師から始める共同薬物治療管理～」など、14のシンポジウム、ワークショップ、一般演題(ポスター)が2日間にかけて開催されます。

問合せ・参加申込先：<http://web.apollon.nta.co.jp/cps2013/>

第1回MRTプログラム・リトリート

第1回MRTプログラム・リトリートを開催。MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材（研究医）を育成することをミッションとしている。このプログラムは、医学類の正式科目と並行して、希望する学生が授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用して、各研究室で行われている研究・ゼミナール・論文講読会等に参加するものである。今回は祈念すべき第1回目のリトリートとなる。MRTプログラム参加学生・関連学生、教員スタッフ、興味のある方々に広く開放して日頃の成果や今後の抱負を語りあう会となる。

日 時：2013年7月23日(火) 午後5時～午後7時 場 所：金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ 主 催：医学類教育委員会

脳・肝インターフェースメディシン研究センターセミナー／MRTプログラムセミナー

「HaloTag Protein Array Mapping of Transcription Factor Interactome Networks」

日 時：平成25年7月25日(木) 17:00～18:00 場 所：医学類F棟1階 修士セミナー室

演 者：矢崎潤史先生（独立行政法人 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 機能性ゲノム解析部門）

タイトル：「HaloTag Protein Array Mapping of Transcription Factor Interactome Networks」

連絡先：脳・肝インターフェースメディシン研究センター 生体統御学部門 井上 啓 (076-265-2840)

第24回 Neuroscience Seminar

「神経変性疾患におけるVCP蛋白質の役割」

京都大学大学院 生命科学研究所・高次生体統御学分野 垣塚 彰 教授

日 時：平成25年9月5日(木) 18時30分～19時30分 場 所：金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ

このたび、京都大学大学院生命科学研究所・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。垣塚先生は、神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され、ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが、最近では抗肥満・抗糖尿病作用をもつERRL1遺伝子の同定など、多方面で業績をあげられています。今回、学部学生の特別講義のために金沢にお越しただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。

第24回日本消化器癌発生学会総会

会 長：源 利成（金沢大学がん進展制御研究所 教授） 会 期：2013(平成25)年9月5日(木)、6日(金)

会 場：石川県立音楽堂 総会HP：<http://jsgc2013.jp/>

テーマ：消化器がん制御への歩み

本学会は、ひろくがんの発生および進行の学理と応用に関する研究を行い、消化器がんの診断、治療および予防の向上と発展を図り、人類の福祉に寄与することを目的としています。金沢での学術総会は1992年と2003年に続いて3回目です。本総会では、がんの原子的で奇異なエネルギー代謝や、がんの発生、進行の仕組みに関する研究の集大成と位置づけられる「がん予防」を主題として取り上げます。また、新たな職業がんとして注目されている「印刷業者の胆管がん」と、がんの診断・治療法開発に役立つ「ヒトがん動物モデル」を特集します。企画課題では、大きな社会問題となっている「原発事故と発がん」について第一人者の神谷研二先生（広島大）が講演します。また、今年の国民栄誉賞受賞者を育てた稲置学園の山下智茂氏に育成講演をお願いしています。これらの企画は一般の皆さまにもご参加いただけるよう準備を進めています。がん撲滅を目指す研究者の真摯な取り組みと学問に対する熱意を感じていただければ幸いです。

第30回日本臨床細胞学会北陸支部連合学術集会

会 期：平成25年9月8日(日) 会 場：金沢大学十全講堂 会 長：藤原 浩（金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学 教授）

事務局：〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学教室内

第30回日本臨床細胞学会北陸支部連合学術集会事務局 学術集会実行委員長：水本泰成 [担当：橋向]

TEL：(076) 265-2425 FAX：(076) 234-4266

内 容：特別講演、教育講演、スライドセミナー、一般演題(口演)

脳・肝インターフェースメディシン研究センターシンポジウム

日 時：平成25年9月20日(火) 午後2:30～6:15 場 所：金沢大学附属病院4階 CPDセンター

基調講演「肝臓におけるインスリン作用と糖代謝」 国立国際医療研究センター総長 春日雅人

特別講演「睡眠のフォワード・ジェネティクス」 テキサス大学/筑波大学教授 柳沢正史

連絡先：脳・肝インターフェースメディシン研究センター 環境応答学部門 太田嗣人 (076-265-2233)